

事前課題 2021年度
「施設内研修企画に必要な基礎知識」
記入例

氏名 上杉花子	所属施設 安全会 新潟安全病院
設置主体 医療法人	病床数 200床
1. あなたの所属施設はどんな施設ですか。特徴や理念を記入して下さい。	
<p>開設されてから約50年の病院である。医療法の改正にともない2002年に療養型病院になった。診療科としては内科・外科を有している。脳出血、脳梗塞などの脳血管障害により急性期病院で治療を受けたあと、後遺症の治療のために入院する患者や認知症の患者が多い。社会復帰や残存機能の向上・維持のために、とくにリハビリテーションは積極的に行っている。基本理念の「安全」「信頼」「誠実」に基づいた実践を目指している。</p>	
2. あなたの所属施設の看護職にはどのようなことが期待されていますか。看護部の理念、教育方針、看護職に望まれている能力、知識、技術、態度などを記入して下さい。	
<p>病院の理念を基本として、看護部の理念は「事故のない安全な看護の実践」、「療養病床の看護に必要な知識・技術の習得と提供」、「個人の尊厳を重視した看護の実践」となっている。昨年度は、転倒転落のインシデントが多発したことから、今年度はとくに、①転倒転落事故防止のための知識・技術を習得すること、②習得した知識を生かして、個々の看護職が受け持ち患者に対して適切な看護計画を立案できること、また習得した技術を生かして立案された看護計画を病棟のチーム全体で実施できること、が看護部の教育目標としてあげられた。</p>	
3. あなたの所属施設の看護職にはどのような特徴がありますか。2. で挙げた理念、教育方針、看護職に望まれている能力、知識、技術、態度を参考に現状を記入して下さい。	
<p>約60人いる看護職のうち、約40人が看護師、約20人が准看護師である。毎年、准看護師養成所・看護師養成所を卒業した直後に採用する者もいるが、中途採用者の方が多く、看護職の平均年齢は約40歳である。昨年度は、転倒転落に関するインシデント・レポートの提出者は新卒看護職が一番多く、中でも、患者の転倒転落の危険性を予知していなかったものが目立っていた。中途採用者の知識・技術は、医療安全や看護過程の展開に関するものも含めて、まちまちである。「勤続年数が多い看護職の中には、転倒転落事故を起こしても、インシデント・レポートを提出しない者がいる」と、新卒看護師から指摘されたことが過去にある。</p>	
4. 2. で挙げた看護職のあるべき姿と3. で挙げた現状の間に違いはありましたか。違いがある場合は挙げてください。	
<p>所属施設では、転倒転落事故の危険性が高い、脳血管障害の後遺症や認知症をもつ、リハビリ中の患者が多く入院している。「事故のない安全な看護の実践」のため、看護職には、転倒転落の事故防止に関する能力が求められている。しかし実際は、転倒転落のインシデントが多発しており、新卒看護職には看護過程の展開の中でも、とくに個々の患者の転倒転落の危険性に関するアセスメント能力（知識）の問題がある。中途採用者に対しても、ある程度の転倒転落事故予防の知識・技術があることを確認する必要がある。また、勤続年数が多い看護職の中には、事故予防の知識・技術だけでなく、態度に問題がある者も存在すると考える。</p>	
5. 教育を担当しているあなたに期待されていることは何ですか。	
<ul style="list-style-type: none"> ・病棟内研修の計画・運営・評価 ・学習環境の整備 	